

*Club Je Pense*

2020年2月講義

# お金と感情

感情を生み出す価値観の書き換え

価値観とは無意識のうちに形成され  
思考や感情や行動の源泉となるもの

この価値観を意識的に再構築し  
望ましい感情を生みやすいようにする

人間の根源的欲求である本能を  
どう扱うかも価値観によって規定される

例えば

「本能に忠実に生きることが良い」

という価値観と

「本能に逆らって生きることが良い」

という価値観では

本能の影響は大きく変わる

当然

本能に対しての価値観が明確でない人は  
無意識のうちに本能に支配される



例えば

「異質なものと違和感を避ける」

というのは生存本能によるもの

自分と同じようなタイプの人間や  
今までと同じような考え方なら  
危険が少ないと判断するのは本能

だから

新しいことに挑戦することを恐れたり

新しい考え方を取り入れることに

抵抗感を持つのは当然のこと

知らず知らずのうちに

「変化を嫌うという本能の奴隷」

になっている

では

価値観を書き換える切り口は？

# 分析哲学

分析哲学とは？

言語の働き の 解明を通じて  
さまざまな問題に答える哲学



なぜ

言語分析をすると

問題可決の糸口になるのか？

一般的には

まず世界（さまざまな事象など）があり  
それを言語が写し取っていると考えます

普遍的な「愛」のような感情が存在し  
それを「愛」と名付けた

例えば

普遍的な「悪」のような行為が存在し

それを「悪」と名付けた

普遍的な「絶望」のような感覚が存在し  
それを「絶望」と名付けた

そして

言語の意味（対象）は固定的であり  
客観的だと考える

それにより

言葉に縛られて感覚や感情を規定され  
結果として悩みを生み出している

あるいは

人間関係においても

お互いが使う言語の意味が同じだと錯覚して

人間関係に悩みを発生させている



分析哲学の思考法は

まず言語があつて

そこから世界が開かれる

「愛とは〇〇することである」

と言語で定義することで

「愛」という感情が生まれた

「悪とは〇〇することである」  
と言語で定義することで  
「悪」という行為が生まれた

「絶望とは〇〇することである」

と言語で定義することで

「絶望」という感覚が生まれた

そして

言語の意味（対象）は流動的であり  
主観的だと考える

それにより

言葉を変えて感覚や感情を支配し  
結果として悩みを消失させていく

あるいは

人間関係においても

お互いが使う言語の意味は違うと自覚して

人間関係に悩みを減少させている

これを

**言語論的転回**

と言います



つまり

「お金」について問いを立てる時

「お金」という言葉の働き

を吟味する必要があります

なぜなら

あなたの使う「お金」という言葉  
お金の価値観が詰まっているからです

この

「お金の価値観」を変えずして  
お金に関連する感情を変えることはできない

よって

金に関する行動も変わらないため

お金の問題も解決しない

いくら

「節約をしよう！」

と行動に働きかけようとしても

「節約は嫌だ！」

と感情が反発して節約できなかつたり

「お金を受け取り上手になろう！」  
とスピリチュアル的にアファメーションしても

「自分には合わない！」  
と感情が反発してお金を受け取れなかったり

今回はテーマが「お金」ですが  
これは全ての言語について応用できます

愛ある人間関係を構築出来ない人は  
行動や感情をコントロールするより  
自分にとっての「愛」を言語分析して  
「愛の価値観」を書き換える方が効果的



ダイエットが出来ない人は  
行動や感情をコントロールするより  
自分にとっての「美」を言語分析して  
「美の価値観」を書き換える方が効果的

禁酒禁煙が出来ない人は  
行動や感情をコントロールするより  
自分にとっての「飲酒喫煙」を言語分析して  
「飲酒喫煙の価値観」を書き換える方が効果的

では本題へ

いきなりですが

実はお金と感情って関係ないです

お金と感情が関係あるという価値観が  
お金を遠ざけています

自己啓発やスピリチュアルだと  
お金と感情をくっつけたがります

そして

その感情のコントロール方法として  
自己啓発やスピリチュアルを売ります

直接お金を増やす方法を売ると  
現実にはお金が増えないで  
クレームが出る可能性があります  
感情のコントロールを売る分には  
本人の責任にできます



例えば

「なかなか貯金ができない」

という人には

「豊かさマインド」的なことを教えるより  
もっと実務的に仕組みを教えればいいのです

積立利率変動型終身保険の支払いを  
給与口座から引き落としにすれば  
嫌でも財形することになります

この場合必要なのは  
「豊かさマインド」ではなく  
ファイナンシャル・インテリジェンスです

他にも

「お金はお役立ちの証」

というような考えもあります

だから

人の役に立とうとして  
でも役に立つ方法がわからず  
お金が増やせない

例えば

金融商品の短期トレードであれば

誰の役にも立っていませんが

数分でサラリーマンの月給が稼げます

その時に必要な技術は  
チャートを診て価格が上がるか下がるか  
予測するだけです

その時

「お金」は単なる数字として扱った方が  
勝率は上がります



「お金」に変なイメージを貼り付けない方が  
お金を稼げる現実もあります

「お金」は単なる数字なので感情は不要

というのも1つの価値観です

じゃあ

トレードで成功している人は  
常に「お金は単なる数字」と思っているか？

そんなことはありません

ある時は「選択肢を広げる道具」

ある時は「お役立ちの証」

ある時は「愛情表現」

つまり

お金に強い人は

お金に固定点を持っていません

この時

「お金」という言語だけで分析をせずに  
「お金」という言葉が使われる文脈を  
分析していく必要があります

分析哲学的に表現すれば

「意味とはその使用である」

つまり

どの文脈で使うかで意味が変わる

トレードの時に使う「お金」

デートする時の「お金」

寄付をする時の「お金」

割引してもらおう時の「お金」

ビジネスの対価としての「お金」

預金通帳に記載されている「お金」

人に貸す時の「お金」



つまり

「お金」単体では

「お金」は意味を持ちません

「お金」という言語の分析だけではなく  
「お金」に関係する言葉の分析も必要です

ではまず

あなたの世界で「お金」に関わる  
言葉をできる限り挙げてみてください



快



不快

- ・ 自由
- ・ 贅沢
- ・ 愛情表現
- ・ 感謝の証
- ・ ビジネスの通信簿

- ・ トラブルの元
- ・ 金目当ての女
- ・ 節約
- ・ 遊びを我慢して働く

そして

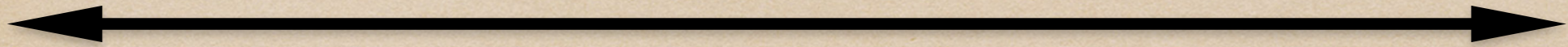
お金に関連して出てきた言葉が

「なぜ関連するのか？」

と更に掘り下げてみてください

お金

快



不快

- ・ 自由 → 選択肢が増える
- ・ 贅沢
- ・ 愛情表現
- ・ 感謝の証
- ・ ビジネスの通信簿

- ・ トラブルの元
- ・ 金目当ての女
- ・ 節約
- ・ 遊びを我慢して働く

さらに

「なぜその理由がいいのか？」

「なぜその理由ではだめなのか？」

理由を掘り下げてみてください

さらにさらに  
もう一段階掘り下げてみてください



それって  
本当のことなのでしょうか？

改めて疑ってみてください

今書きだしたことを  
みんなとシェアしてみて  
他の人の価値観も参考にしてみましよう

いかがでしたでしょうか？

お金の価値観は少しゆらぎましたか？

引き続き

言語と向き合って

価値観を疑い続けていきましょう

ご清聴ありがとうございます